



たい。

- 除雪対策事業費の補助率は3分の2となっているが、追加支援分についても3分の2なのか。
- △ 追加支援分についても、同じ交付金であるため、補助率は3分の2である。
- 消雪施設整備事業について、遠方監視装置の設置によって、どのように利便性が向上し、成果が出るのか。
- △ 消雪装置は、井戸に設置された機械設備のセンサーを使って、雪が降った時に水が出る仕組みとなっている。遠方監視装置は、このセンサーに不調が生じ、水が出ない場合に、除雪対策本部あるいは職員のスマートフォンから遠隔操作をして消雪装置の水を出せるようにするものであり、本事業において機械設備に発信器を設置する。これまでセンサーに不具合が生じたときは、消雪装置が作動しないため、職員が現地まで行き、手動で水を出していた。遠方監視装置を設置することで、迅速に消雪を復旧することができるように考えている。
- 都市公園等整備事業について、子どもたちのための公園の再整備という内容について詳しく教えてほしい。
- △ 都市公園等整備事業の社会資本整備総合交付金については、高岡おとぎの森公園において子どもたちが水と触れ合えるよう、7年度から2ヵ年をかけて取り組むかっぱの広場周辺の親水機能の強化のための再整備に活用するものである。今後は、従来より活用している防災・安全交付金の施設の長寿命化対策の補助金と合わせて、魅力向上計画に位置付けた取組を推進していきたい。
- 様々な事業を高岡おとぎの森公園で展開しているため、来訪者が大変増えている。先日公園に行った時も多くの方が来ており、好感を持った。反面、車も多く止まっており、特に土、日、祝日は、周辺道路の路上駐車もあるため、安全対策にも注意してほしい。(要望)
- △ 土、日、祝日の路上駐車に対する安全対策については、駐車場不足という課題に対して、にぎわい広場を駐車場としても活用できるよう整備したところであるが、ありがたいことにその後も多くの方々に来場いただいている。まずは路上駐車の状態等を注視しながら、必要に応じて安全対策を検討していきたい。
- 液状化対策事業について、液状化対策試験施工の詳しい内容は。
- △ 液状化対策事業については、6年度から、道路と宅地の一体的な液状化対策を検討するため、伏木・吉久・横田地区において土質試験を行い、7年3月には、液状化対策に関する検討結果を公表した。7年4月には、報告書の内容に基づき、対策工法の概要や今後の予定について地元説明会を開催したところである。試験施工については、対象範囲で地下水位が低下するか、地盤沈下の影響がないかなどについて確認する目的で計画しており、予算化もしている。進めるにあたっては、地元の方の意見も勘案しながら進めたいと考えており、今後とも地元の方と十分に話し合いをしていきたい。
- 震災関係の補助金では補助率が10分の10というものがよくあるが、今回の補助事業については2分の1なのか。また、スケジュールについても分かる範囲で知りたい。
- △ 液状化対策について、補助率が10分の10となる補助金は把握していない。今回内示があった国の補助事業については、国からの補助は2分の1だが、残りの市費のう

ち95%は特別交付税措置されるということで、市の実質の負担は2.5%となる。スケジュールについては、市の予定としては、7年度中に試験施工を行うが、工事した後、現地の水位の動向の把握などでおおよそ半年かかる。着手する前に地元の住民の方に、具体的な施工位置や期間を再度説明する予定としており、その説明後に試験施工に入りたいと考えている。説明については、なるべく早い時期となるよう、現在検討中である。住民の方の意見も踏まえながら、状況が整ったところで進めていきたい。

- 住民の方々としっかりコミュニケーションをとって、良好な関係で進めていただきたい。(要望)
- △ ご質問のあった4点に限らず、今日報告させていただいた25事業については震災復旧を第一に進めながら、未来に向けた取組あるいは安全安心に向けて、着実に整備を進めていきたい。

[上下水道局]

- 。令和7年度上下水道局所管事業の予算内示について

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

## 2 その他

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

[産業振興部]

- 。「学生×高岡で輝く女性社員との交流カフェ」の開催について

〈 委員から、次のとおり質疑があった。 〉

**【「学生×高岡で輝く女性社員との交流カフェ」の開催について】**

- 参加される女性社員5名が所属する企業は。
- △ 企業は富山銀行、開進堂、能作、宮越工芸、NSK富山であり、ホームページ上では、企業名と女性社員のイニシャルなどが掲載されている。

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

産業建設常任委員会 当局説明員（27名）

産業振興部長	山本 真弘	都市創造部長 技術政策監	梶本 敏規
産業振興部次長	須田 稔彦	都市創造部次長	伴 孝宏
産業振興部次長	表野 勝之	都市創造部次長 震災復旧推進課長	山森 久史
産業振興部参事（兼務）	伴 孝宏	都市計画課長	橘 篤志
産業企画課長	今方 順哉	景観みどり課長	田口 昌子
商業雇用課長	澤田 剛章	道路整備課長	中出 裕嗣
観光交流課長	野村 岳人	土木維持課長	中澤 俊一
農業水産課長	割田 一郎	建築政策課長	氷見 和人
農地林務課長	横山 太一	営繕課長	井林 哲雄
みなと振興課長	上田 浩樹	福岡駅前土地区画整理推進室長	橘 茂徳
地域振興交流課長	有栖 友広		
		上下水道事業管理者	黒木 克昌
農業委員会事務局長（併任）	須田 稔彦	上下水道局次長	寺井 義則
		総務課長	小久保 光章
		営業課長	熊本 敬二
		水道工務課長	片岡 利行
		下水道工務課長	高林 隆
		施設維持課長	村栄 正英